



ここから、どこへ進む？



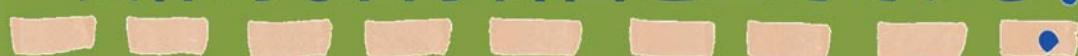
語学力をつけたい



なんとなく留学したい



具体的な留学計画を立てている！



外国語を学ぶ方法はいろいろ！

共通教育科目として提供されている外国語科目を受講する

専攻が語学や文学でなくても、語学力があれば、専門分野を学習するために留学することも可能です。コミュニケーションツールやキャリア形成の強みの一部として、大学で提供されている語学科目も活用しましょう。

外国語ユニットを利用する

国際教育センター外国語ユニットには、語学ラボ室や AV 機器が備わった語学自習室が設置されており、語学学習にかかる参考書も学内限定で貸し出しています。また、e-Learning や TOEFL・TOEIC 試験のスコアアップ講座も開設しています。学内の施設をフル活用して、語学力アップを目指しましょう。



英語学習アドバイザーと頑張る

個別の英語に関する悩みや、資格試験・留学などの目的達成に向けた英語学習について、プロのカウンセリングや講座を受けることができます。春・夏休み特別講座（英会話やリスニング等の様々な楽しいクラス）、学期中の TOEIC・TOEFL スコアアップセミナー、毎週英会話を練習するペラペラ団、同じ目的に向かって頑張る学生が集まって勉強する EAGER BEAVERS など、充実したプログラムがあります。問合せ・各種講座予約・カウンセリング予約は下記にメールしてください。

alc-rits@lab.u-ryukyu.ac.jp



外国人留学生と交流する

琉球大学には、約 40 か国の国々から、約 300 名の外国人留学生を受け入れています。国際教育課では、外国人留学生の学習や生活をサポートする日本人学生チューターを随時募集しています。毎年 4 月及び 10 月に入学する新入留学生のチューターになって、外国語や外国の文化を身近に体験してみませんか？外国人留学生をサポートしたいという気持ちがあれば、語学力は問いません。外国人留学生の中には日本語上級レベルの学生もいますので、思い切ってチューター登録してみましょう。

留学にもいろいろ！

学内の海外文化研修・短期研修

「長期間の留学をするのはちょっと不安」「興味のある国で現地の生活をお試し体験してみたい」など、1学期間以上の海外留学に踏み出せない場合は、学内で実施している海外文化研修や短期研修を利用してみてください。海外文化研修の派遣先国は、台湾、ハワイ、フランス、ドイツ、スペインなどで、海外文化研修に参加した経験が短期交換留学につながった先輩も多くいます。

私費留学

大学を休学して語学留学する方法もあります。留学の開始時期、期間、留学先国や大学に制限がなく、自由に留学プランを立てられることが私費留学のメリットです。ただし、私費留学期間中に取得した単位は単位互換されず、大学では留学の準備をサポートできないので、全て自分で準備するか、留学エージェントに依頼しなければなりません。私費留学の中でも、学習目的なのかワーキングホリデーを利用するのかでビザの種類が異なります。また、留学先国によって必要経費は異なりますので、事前に学費や生活費を確認し、ご家族と相談することをおすすめします。

ワーキングホリデー

私費留学の中でも留学目的が就労活動を含めた滞在の場合は、ワーキングホリデー制度を利用した留学になります。ワーキングホリデー制度で留学できる国は限定されていますので、留学したい国が制度に含まれているかどうか、事前に確認が必要です。

短期交換留学（派遣）プログラム

琉球大学と海外の大学との間で締結した学生交流協定に基づいて、琉球大学に在学したまま協定大学に留学する制度です。琉球大学は30か国・地域以上の約90大学と学生交流協定を締結しています。

派遣期間は1学期以上1年未満で、留学先で取得した単位は、留学終了後に琉球大学で定められた手続きを経た場合、単位互換（琉球大学の卒業単位として認定）することも可能です。

特に英語圏の協定校への派遣希望者が多く、派遣可能人数には限りがあります。希望する協定校の交換留学枠を獲得するには、学内の短期交換留学（派遣）学生選考で考慮されるGPA（入学時から短期交換留学申請時点までの成績係数）を高水準で維持することと、各協定校が定めている英語語学力試験（TOEFL、IELTS等）の基準点を取得していくことがポイントになります。

TOEFL : <https://www.cieej.or.jp/toefl/>
IELTS : <http://www.eiken.or.jp/ielts/>



←TOEFL



IELTS→

短期交換留学（派遣）プログラム

学生交流協定締結大学一覧（平成 30 年 11 月 1 日現在）

下の一覧で大学名に*印が付いている大学は、国際教育センター（旧留学生センター）で部局間学生交流協定を締結していますが、国際教育センターは全学組織のため、大学間交流協定校と同等に派遣学生の公募・選考を行います。「確認中」と記載されている項目について、国際教育課担当に確認してください。

P6 の表は部局間交流協定締結校です。当該大学には、締結学部に所属する学生のみ派遣可能であり、各学部で派遣学生の公募・選考を行っています。詳細については、所属学部の事務室に問い合わせてください。

○大学間交流協定校一覧（国・地域名の（）内は大学数。派遣人数は、協定書に記載された年間派遣可能人数）

	国・地域名	大学名	語学基準	派遣人数	大学Webサイト
1 米国 (8)		ミシガン州立大学	TOEFL iBT 79 点以上 (各セクション 17 点以上) IELTS 6.5 以上	5	https://msu.edu/
		グアム大学	TOEFL iBT 61 点以上 IELTS 5.5 以上	3	https://www.uog.edu/
		ハワイ大学マノア校	TOEFL iBT 68 点以上 IELTS 6.0 以上	5	https://manoa.hawaii.edu/
		ハワイ大学ヒロ校	TOEFL iBT 61 点以上 IELTS 5.5 以上 英検 2 級 A 以上	2	https://hilo.hawaii.edu/
		ハワイ大学 カウアイ・コミュニティ カレッジ	TOEFL iBT 45 点以上 IELTS 5.0 以上 英検 2 級 A 以上	2	http://kauai.hawaii.edu/
		ハワイ大学 マウイ・カレッジ	TOEFL iBT 61 点以上 IELTS 5.5 以上 英検 2 級 A 以上	2	http://maui.hawaii.edu/
		ネヴァダ大学リノ校	TOEFL iBT 61 点以上 IELTS 6.0 以上	2	https://www.unr.edu/
		フォートルーイス大学	TOEFL iBT 61 点以上 IELTS 5.0 以上	4	https://www.fortlewis.edu/
2	カナダ (1)	メモリアル大学	各学部が別に定める必須スコアあり。以下は最低基準点 IELTS 6.5 以上 (各セクション 5.5 以上) / TOEFL iBT 79 点以上 (リスニング 17 点、ライティング 20 点、リーディング 20 点、スピーキング 17 点以上)	3	https://www.mun.ca/
3 オーストラリア (2)		キャンベラ大学	IELTS 6.0 以上 (各セクション 5.5 点以上) TOEFL iBT 60 点以上 (Reading:8 点以上, Listening:7 点以上, Speaking:16 点以上, Writing:18 点以上)	2	https://www.jcu.edu.au/
		ジェームス・クック大*	IELTS 6.0 以上 (各セクション 5.5 点以上) / TOEFL iBT 79 点 (Writing:19 点以上)	2	https://www.victoria.ac.nz/
4	ニュージーランド (1)	ウェリントン・ ヴィクトリア大学	IELTS 6.0 以上 (各セクション 5.5 点以上) TOEFL iBT 80 点以上	2	https://www.victoria.ac.nz/

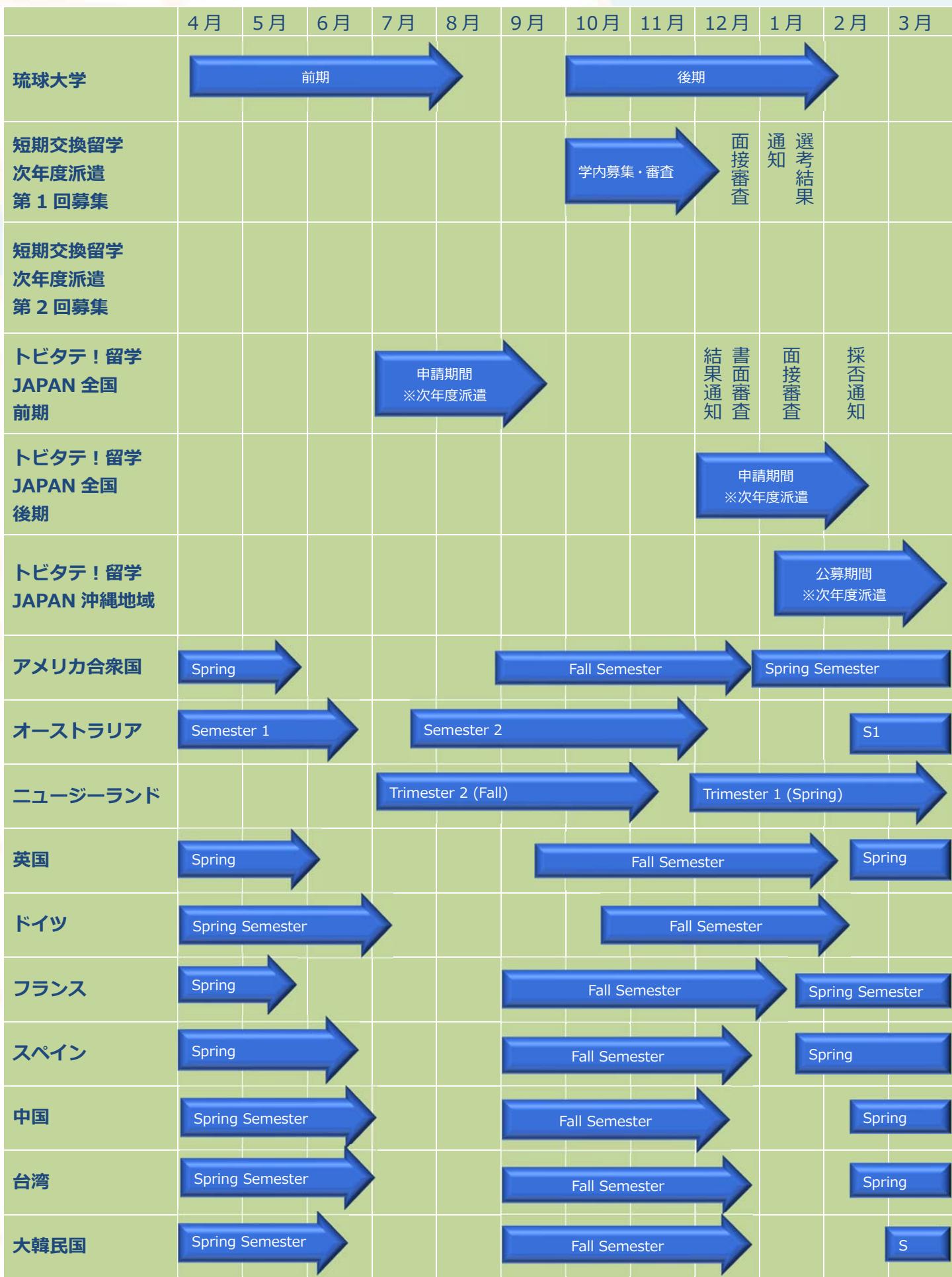
	国・地域名	大学名	語学基準	派遣人数	大学Webサイト
5	パプア・ニューギニア (1)	パプア・ニューギニア大学	確認中	3	http://www.upng.ac.pg/site/
6	マーシャル諸島共和国 (1)	マーシャル諸島短期大学	確認中	1	http://www.cmi.edu/
7	パラオ共和国 (1)	パラオ地域短期大学	TOEFL iBT 61点以上	1	http://pcc.palau.edu/
8	ミクロネシア連邦 (1)	ミクロネシア連邦短期大学	TOEFL iBT61点/CBT173点、 PBT500点以上/IELTS 5.5以上/ TOEIC 590点以上	1	http://www.comfsm.fm/
9	サモア独立国 (1)	国立サモア大学	-	3	https://www.nus.edu.ws/s/index.php
10	仮領ニューカレドニア (1)	ニューカレドニア大学	確認中	3	http://unc.nc/
11	フィジー諸島共和国 (1)	南太平洋大学	TOEFL iBT 79-80点以上	3	https://www.usp.ac.fj/
12	トンガ王国 (1)	アテニシ大学	確認中	3	https://atenisi.edu.to/
13	中国 (6)	中南林業科技大学	中国語による提供科目を受講する場合、HSK5 英語による提供科目を受講する場合、TOEFL PBT450点、 IELTS 5.0以上	3	http://gjxy.csuft.edu.cn/cglx/lh/sfbz/
		福建師範大学	-	5	http://www.fjnu.edu.cn/
		雲南農業大学	-	5	http://www.ynau.edu.cn/
		延邊大学	-	5	http://www.ybu.edu.cn/
		華中科技大学	-	2	http://www.hust.edu.cn/main.htm
		对外經濟貿易大学	-	2	http://www.uibe.edu.cn/
14	台湾 (10)	国立台湾大学	-	5	http://www.ntu.edu.tw/english/
		國立台湾海洋大学	-	2	http://english.ntou.edu.tw/bin/home.php
		東海大学	-	5	http://www.thu.edu.tw/
		國立中山大学	-	5	http://exchange.olia.nsysu.edu.tw/
		国立台南大学	-	2	http://olia.nutn.edu.tw/
		国立澎湖科技大学	-	3	https://www.npu.edu.tw/
		國立雲林科技大学*	-	5	https://www.yuntech.edu.tw/
		文藻外語大学*	-	2	http://www.wzu.edu.tw/
		開南大学	中国語のレベル要件：なし 英語による提供科目を受講する場合：TOEFL iBT60点/ IELTS 5.0/TOEIC650点以上	3	http://www.knu.edu.tw/bin/home.php
		台北城市科技大学	工学部：基礎的な会話ができる 英語力 工学部以外：要件なし	5	http://www.tpcu.edu.tw/bin/home.php?Lang=en

	国・地域名	大学名	語学基準	派遣人数	大学Webサイト
15	大韓民国 (8)	啓明大学校	-	3	www.kmu.ac.kr/english
		済州大学校	-	2	http://www.jejunu.ac.kr/
		順天大学校	-	3	https://www.scnu.ac.kr/SCNU/main.do?sso=ok
		延世大学校	KLAT/KLPT/TOPIK Level4 TOEFL iBT 79点以上/ IELTS 6.0以上	2	http://www.yonsei.ac.kr/en_sc/index.jsp
		ソウル市立大学校	-	5	http://www.uos.ac.kr/main.do
		木浦大学校	-	1	http://www.mokpo.ac.kr/index_9is
		湖西大学校	-	5	http://eng.hoseo.ac.kr/Home/Main.mbz
		慶熙大学校* (外国語大学)	-	2	http://old_www.khu.ac.kr/eng/index.jsp
16	タイ (5)	チュラロンコン大学	IELTS 6.0以上 TOEFL iBT 79点以上	3	http://www.chula.ac.th/
		タマサート大学	IELTS 5.5-7.0/TOEFL iBT 60-85点 (参加プログラム により異なる。)	3	http://oia.tu.ac.th/
		コンケン大学	-	3	https://www.kku.ac.th/?l=th
		チェンマイ大学	TOEFL iBT61点以上/IELTS 5.5以上/TOEIC 600点以上	5	http://www.cmuic.cmu.ac.th/cmuic2016/Home/index
		キングモンクット工科大学 ラカバン校	TOEFL PBT500点以上/ IELTS 5.5以上/TOEIC 590点以上	3	http://www.kmitl.ac.th/en
17	インドネシア (3)	サムラトランギ大学	確認中	3	www.unsrat.ac.id
		ボゴール農業大学	確認中	5	https://www.ipb.ac.id/
		ディボネゴロ大学	-	3	https://www.undip.ac.id/language/en/
18	ベトナム (1)	ターライグエン大学	ベトナム語 (レベル提示なし)	5	http://en.tnu.edu.vn/
19	ラオス (2)	ラオス国立大学	確認中	3	http://www.nuol.edu.la/index.php/en/
		ラオス健康科学大学	確認中	3	http://university.luke.ac.jp/english/
20	ドイツ (1)	ハイインリッヒ・ハイネ・ デュッセルドルフ大学	-	5	https://www.uni-duesseldorf.de/home/startseite.html
21	フランス (4)	リール科学技術大学	フランス語 B2 レベル	5	https://www.univ-lille.fr/
		フランス国立高等研究院	確認中	3	https://www.ephe.fr/
		トゥルーズ・ ジャン・ジョレス大学	-	5	https://www.univ-tlse2.fr/accueil-548615.kjsp
		トゥルーズ 第一キャピトル大学	確認中	5	http://www.ut-capitole.fr/
22	英国 (1)	シェフィールド大学	各学部が別に定める必須スコアあり。以下は最低基準点 IELTS 6.0以上 (各セクション 5.5以上) /TOEFL iBT 80点以 上 (リスニング 17点、ライテ ィング 17点、リーディング 18 点、スピーキング 20点以上)	2	https://www.sheffield.ac.uk/

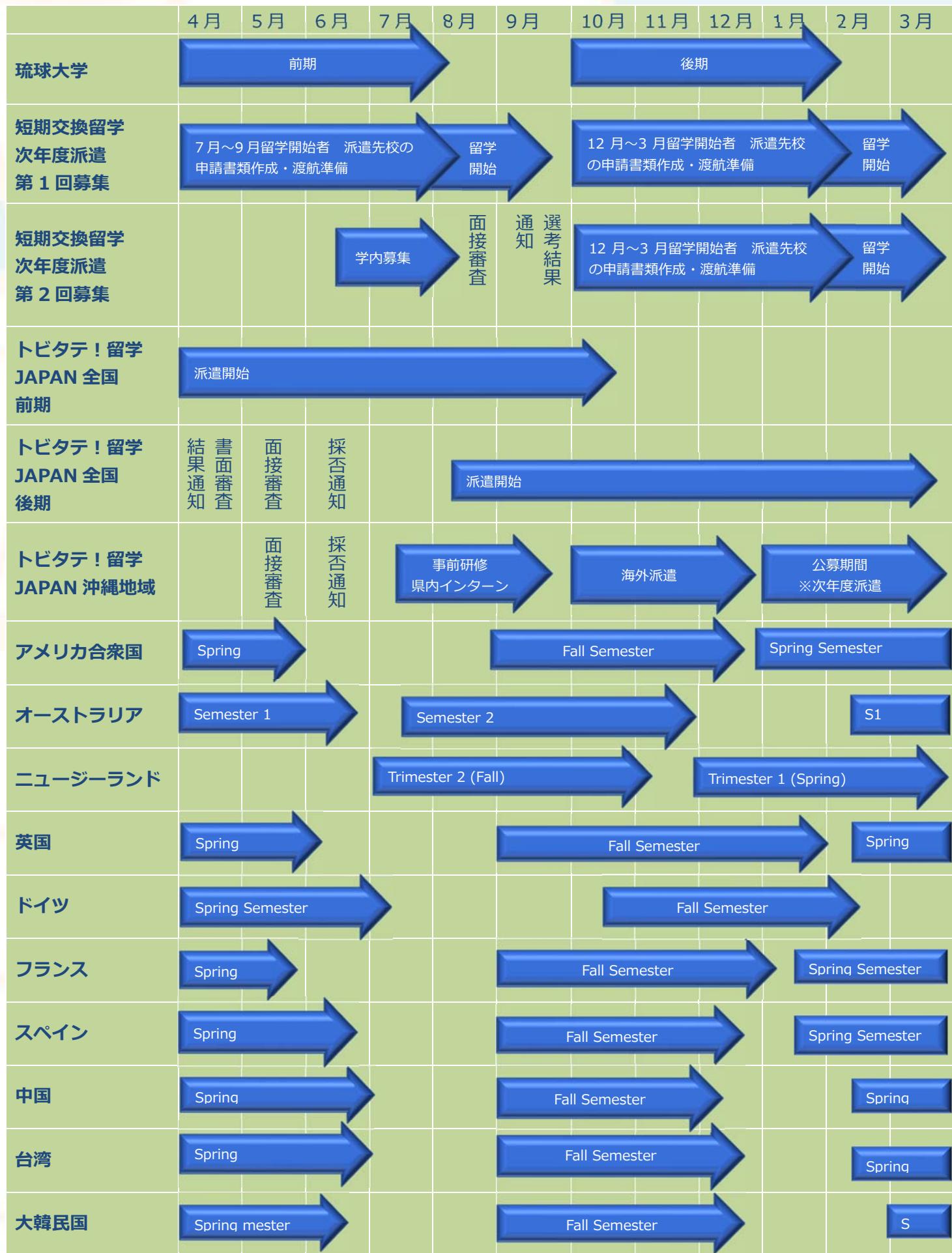
○部局間交流協定校一覧

	国・地域名	大学名	締結学部	大学Webサイト
1	米国(1)	ボールステイト大学	法文学部	https://www.bsu.edu/
		広西医科大学	医学部	http://www.at0086.com/gxmu/
		大連医科大学	医学部	http://english.dmu.edu.cn/
2	中国(5)	大連工業大学（情報科学工程学部）	工学部	http://en.dlpu.edu.cn/
		福州大学	工学部	http://www.fzu.edu.cn/
		厦门理工学院	工学部	http://www.xmut.edu.cn/
3	台湾(2)	国立台湾科技大学 (電気工学・情報科学部及び工学部)	工学部	https://www.ntust.edu.tw/home.php
		中国文化大学	理学部	https://www.pccu.edu.tw/
4	大韓民国(4)	忠北大学校（工学部）	工学部	http://www.chungbuk.ac.kr/site/www/main.do
		成均館大学校	工学部	https://www.skku.edu/skku/index.do
		高麗大学校（国際学部・国際大学院）	法文学部	http://www.korea.ac.kr/mbshome/mbs/university/index.do
		培材大学校	教育学部	http://www.pcu.ac.kr/www2/index/
5	インド(2)	国立細胞・分子生物学研究所	医学部	http://www.ccmb.res.in/
		マダン・モハン・マラビヤ工科大学	工学部	http://www.mmmut.ac.in/
6	ブラジル(1)	サンパウロ大学	工学部	https://www5.usp.br/
7	ベトナム(2)	ベトナム国家農業大学	農学部	https://eng.vnua.edu.vn/
		ハノイ科学技術大学	工学部	https://www.usth.edu.vn/
8	モンゴル(2)	モンゴル保健総合大学	医学部	https://mnums.edu.mn/index.php
		モンゴル科学技術大学	工学部	http://www.must.edu.mn/mn/
9	ミャンマー(1)	情報技術大学	工学部	http://www.uit.edu.mm/
10	カンボジア(1)	カンボジア工科大学	医学部	http://www.itc.edu.kh/en/
11	バングラデシュ(1)	ラジシャヒ工科大学	工学部	http://www.ruet.ac.bd/
12	シンガポール(1)	南洋理工大学	医学部	http://www.ntu.edu.sg/Pages/Home.aspx
13	スリランカ(1)	ルフナ大学	農学部	http://www.ruh.ac.lk/ruh/
14	イラン(1)	テヘラン大学	工学部	http://ut.ac.ir/en
15	アフガニスタン(1)	カブール大学	工学部	http://www.ku.edu.af/en/
16	トルコ(1)	パムッカレ大学	工学部	http://pau.edu.tr/pau/en/
17	ドイツ(1)	ハンブルク大学（人文学部アジア・アフリカ研究所）	法文学部	https://www.uni-hamburg.de/
18	フランス(1)	レンヌ第一大学（電子通信情報研究機関）	工学部	https://www.univ-rennes1.fr/
19	スウェーデン(1)	イエーテボリ大学（文学部）	法文学部	https://www.gu.se/
20	スペイン(1)	自治大学（通訳翻訳学部）	法文学部	https://www.uab.cat/
21	南アフリカ共和国(1)	国立ケープタウン大学	医学部	https://www.uct.ac.za/

留学カレンダー（1年目）

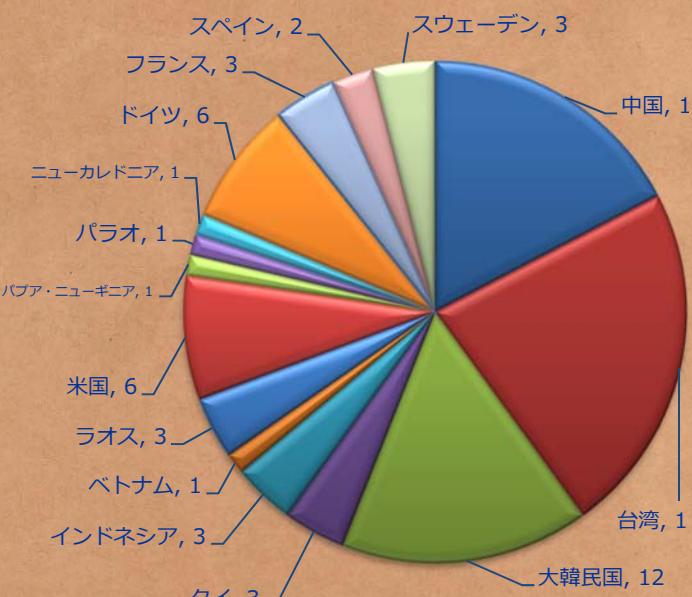


留学カレンダー（2年目）



学生交流協定のしくみ

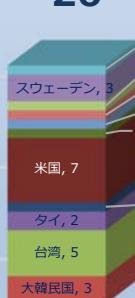
世界中の多くの大学が海外の大学と学生交流協定を締結して、交換留学プログラムを実施していますが、学生交流協定書には、通常「年間○名の学生を派遣・受入して交流する」という内容の記載があります。学生交流協定は、あくまでも受入学生と派遣学生相互の人数のバランスを均衡に保ちつつ学生交流が進められます。従って、琉球大学への派遣留学生が少ない大学については、毎年派遣人数が変わることもあります。留学したい大学が見つかったら、国際教育課に情報収集にきてください。派遣可能人数を確認することで、外国語や専門分野学習のモチベーションアップにつながり、派遣枠の獲得に一步近づけるかもしれません！



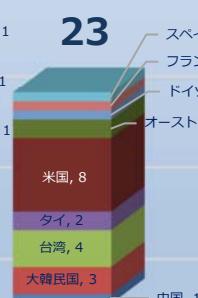
短期交換留学生
2018年度受入実績 合計 75名

短期交換留学生 派遣実績

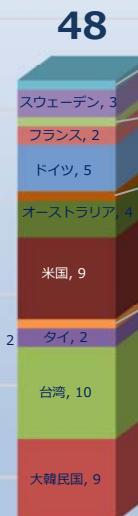
26



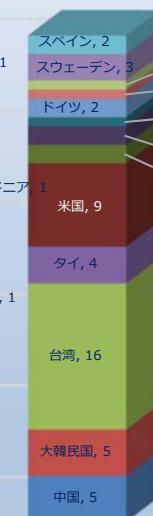
23



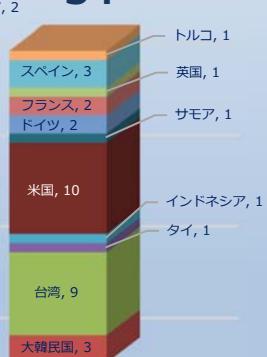
48



53



34



H26

■中国
■ラオス
■ドイツ

H27

■大韓民国
■米国
■フランス

H28

■台湾
■オーストラリア
■英国

H29

■タイ
■ニュージーランド
■スウェーデン
■スペイン
■サモア

H30

■ベトナム
■ニューカレドニア
■トルコ

留学までのプランをたててみる-1

留学を考え始める時期、留学開始時期や留学期間は、所属学部や将来の目標によって異なります。下のチャートは、3年生の前期終了後（夏季休暇）から英語圏の大学に交換留学する場合の留学プランの一例です。交換留学を考え始めて、実際に留学するまでには時間がかかります。大学入学後、早い時期に自分に合った留学プランをたててみましょう。

1年前期	1年後期	2年前期	2年後期
<ul style="list-style-type: none"> ●協定校や派遣先国について情報収集開始 ●現時点の英語力を確認するため、TOEFL iBT/IELTS を受験 ↓ QUEST 基金の英語能力試験受験料助成（1回の受験につき20,000円の補助） 	<ul style="list-style-type: none"> ●キャリア教育支援センターを利用して、留学の時期や就職活動について情報収集 ●TOEFL iBT や IELTS のスコアをもとに受験対策開始 ↓ 学内や大学生協で対策講座を開講 	<ul style="list-style-type: none"> ●夏休みを利用して「海外文化研修」や短期の語学留学にチャレンジ ↓ QUEST 基金の短期研修プログラム助成金で海外文化研修参加費用を支援 	<ul style="list-style-type: none"> ●TOEFL iBT/IELTS を再受験 ↓ QUEST 基金の英語能力試験受験料助成（1回の受験につき20,000円の補助） ●3年次の8月～9月派遣開始に向けて、短期交換留学に申請

3年前期	短期交換留学（2学期間）	3年後期
<ul style="list-style-type: none"> ●（派遣留学が決まつたら）協定校に提出する交換留学申請書類、ビザなど留学の準備 ●いよいよ出発！ 	<ul style="list-style-type: none"> ●語学力 UP ●専門分野の学習 ↓ 3つの奨学金で交換留学生を支援。詳細は以下の「奨学金情報」をチェック！ <i>Check</i> 	<ul style="list-style-type: none"> ●派遣先国で開催される日本企業の就職フェアに参加 ●夏季・春季休暇を利用して、現地の企業でインターンシップ ●英語力の伸びを確認するため、TOEFL iBT/IELTS を再受験 ●TOEIC、実用英語検定試験準1級/1級にチャレンジ ●就職活動開始

4年前期	4年後期
<ul style="list-style-type: none"> ●英語を使うキャリアを考えるのであれば、目指せ！ TOEIC:900点以上 英検：準1級以上 	<ul style="list-style-type: none"> ●大学院に進学 ↓ QUEST 基金の大学院学生海外留学奨学金で大学院在学中の海外研究を支援 ●大学学部卒業・就職



ワンランク
アップした
自分に！

奨学金情報（平成30年度） *Check*

1. 日本学生支援機構(JASSO)海外留学支援制度
支援額：奨学金月額6万円～8万円
支援期間：最長12か月
支援人数：年度により異なる
2. 岸本基金寄附金「協定派遣」奨学金
奨学金：月額12万円
準備金：24万円
支援期間：最長12か月
支援人数：年間2名程度
3. 琉球大学QUEST基金短期交換留学奨学金
奨学金：月額8万円
準備金：15万円
支援期間：最長12か月
支援人数：年間20名
4. 琉球大学後援財団「留学生派遣奨励金」
支援額：奨学金月額5.5万円
支援期間：最長10か月
支援人数：年間1名

短期交換留学 Q&A

Q1. 琉球大学では留学について、どのようなサポートをしていますか？

A1. 学生部国際教育課では、主に短期交換留学に関する相談に対応したり、手続きをしたりしています。私費留学やワーキングホリデー留学については、基本的に学生本人で情報収集や手続きをしますが、これらについても無料の資料等を配布しています。相談にも乗りますので、気軽に質問にきてください。

Q2. 琉球大学で短期交換留学制度を利用する場合、どのような国や大学に留学できますか？

A2. アジア、欧米諸国を中心に約 90 校の学生交流協定校に留学することができます。

Q3. 短期交換留学制度には何年生で応募できますか？

A3. 1 年次で学内公募に応募して、2 年次には留学する学生もいます。また、琉球大学に学籍があれば、4 年次以上でも応募することができます。

Q4. 短期交換留学した場合、4 年で琉球大学を卒業できますか？

A4. 1 年間交換留学した場合でも、4 年で卒業する学生もいますが、4.5 年～5 年の在籍期間になる場合が多いです。交換留学しつつ、4 年で琉球大学を卒業したい場合は、入学直後から、卒業に必要な単位数や専門科目を確認し、派遣希望先大学の提供科目について十分な情報収集を進めておく必要があります。

Q5. いつ公募が始まりますか？

A5. 毎年、10 月～11 月に短期交換留学の第 1 回募集があります。1 月頃には面接があり、採用された場合は、募集があった年度の翌年度に留学を開始することになります。また、5 月～7 月には、第 1 回募集で派遣可能学生数に満たなかった協定校について、第 2 回募集が行われます。

Q6. 短期交換留学には審査がありますか？

A6. 申請書類を提出し、面接審査を受験することになります。面接は、派遣先国の言語による質問を含めて、約10分程度行います。派遣学生の選考は、大学の成績（GPA）と面接点の結果に基づき、決定します。

Q7. 申請すれば、必ず短期交換留学することができますか？

A7. 各学生交流協定校に派遣できる人数が決まっていますので、その人数以上に希望者がいた場合は、採用されない可能性があります。また、協定校が設定している語学力基準を指定された期日までに満たさない場合は、学内選考の面接を受験することができません。

Q8. 語学力基準とは、何ですか？

A8. 欧米諸国の大学は、TOEFL や IELTS などの英語能力試験の基準点を定めています。例えば、アメリカのハワイ大学マノア校の場合、TOEFLiBT（パソコンを利用し、インターネット経由で受験する試験）で 68 点以上公式スコアを保有していなければ、短期交換留学生として派遣することができません。

Q9. 英検や TOEIC のスコアは語学力基準の証明にはなりませんか？

A9. アジアの一部の大学では TOEIC スコアも語学力基準として受け付けている大学があります。また、ハワイ大学の一部では「英検 2 級 A レベル」以上の証明を受け付けています。各協定校の語学力基準情報は国際教育課で提供していますが、留学先の選択肢を広げるためにも、TOEFLiBT または IELTS の受験をオススメします。

Q10. TOEFLiBT や IELTS は難しいですか？

A10. これらの語学試験は、大学において、英語による提供科目を英語で学習できる語学力があるかを測るもので、欧米の協定校が定めている基準点を獲得するまでに時間がかかることがあります。留学を考えている場合は、大学の勉強はもちろんですが、英語学習も併せて進めていく必要があります。

Q11. TOEFLiBT や IELTS は大学で受験できますか？

A11. 残念ながら、琉球大学で受験することはできません。TOEFLiBT は那覇市内に受験会場があり、インターネットで受験を申し込むことができます。IELTS は、一番近い会場は福岡県になります。こちらもインターネット経由で申込み可能です。

Q12. TOEFLiBT や IELTS の受験料はいくらですか？

A12. どちらの試験も 1 回の受験に 25,000 円から 27,000 円かかります。琉球大学では、QUEST 基金により、TOEFLiBT 及び IELTS の受験料を 20,000 円補助する制度があります。年に 2 回まで申請することができますので、制度を活用して積極的に受験してみましょう。

Q13. 短期交換留学には、どれぐらいの費用がかかりますか？

A13. 短期交換留学に派遣される場合は、琉球大学に授業料を支払い、派遣先大学では授業料や入学料が免除されます。また、留学期間中は、欧米諸国であれば、学生寮に入居しても月額 8 万円～10 万円の費用がかかる可能性があります。生活費の月額は、国によって異なりますので、留学したい国が決まっている場合は、早めにインターネットや雑誌で情報収集を進めてください。

Q14. 短期交換留学するための奨学金はありますか？

A14. はい。給付型奨学金と貸与型奨学金があります。

Q15. 給付型奨学金と貸与型奨学金の違いは何ですか？

A15. 給付型奨学金は、返済不要の奨学金です。多くの給付型奨学金は、帰国後に報告書や派遣先大学の成績証明書の提出が必要になります。貸与型奨学金は、返済が必要な奨学金です。

国際教育課で手続きする奨学金は給付型奨学金です。貸与型奨学金は、学生部学生支援課奨学係に問い合わせてください。

Q16. どんな給付型奨学金がありますか？

A16-1. 短期交換留学生に対する奨学金は主に 5 つあります。1 つめは、独立行政法人日本学生支援機構が実施している「海外留学支援制度」の奨学金を受給できる可能性があります。この奨学金は、月額 6 万円～8 万円を最長 12 か月まで受給することができます。この奨学金を受給した場合、帰国後に派遣先大学の成績証明書とアンケート形式の報告書を提出することになります。採用人数は、派遣年度及び派遣先国・地域により異なります。

A16-2. 岸本基金寄附金「協定派遣」奨学金は、月額 12 万円（最長 12 か月まで）の奨学金と留学準備金を 24 万円（1 回）受給することができます。この奨学金を受給した場合、帰国後に派遣先大学の成績証明書と留学報告書を提出することになります。平成 30 年度は、年間 2 名を採用しています。

A16-3. QUEST 基金短期交換留学奨学金は、月額 8 万円（最長 12 か月まで）の奨学金と留学準備金を 15 万円（1 回）受給することができます。この奨学金を受給した場合、帰国後に派遣先大学の成績証明書と留学報告書を提出することになります。平成 30 年度は、年間 20 名を支援しています。

A16-4. 琉球大学後援財団「留学生派遣奨励金」は、月額 5.5 万円（最長 10 か月まで）の奨学金を受給することができます。この奨学金を受給した場合、帰国後に派遣先大学の成績証明書と留学報告書を提出することになります。平成 30 年度は、年間 1 名を採用しています。

A16-5. 官民協働海外留学支援制度～トビタテ！留学 JAPAN 日本代表プログラム～も給付型奨学金の制度です。このプログラムは、学生本人が作成する留学計画を日本国内の賛同企業の審査委員が全国規模で審査します。書面審査と面接審査を通過して採用された学生は、留学準備金や奨学金等の充実した支援を受けることができます。私費留学として活用することも、短期交換留学と併用することも可能です。また、事前・事後研修で全国の大学生とネットワークをつくることも魅力のひとつです。

トビタテ！留学 JAPAN に関する
詳しい情報はこちら！
<http://www.tobitate.mext.go.jp/index.html>



留学までのプランをたててみる-2

1年前期	1年後期	年前期	年後期

年前期	年後期	年前期	年後期

年前期	年後期



Memo